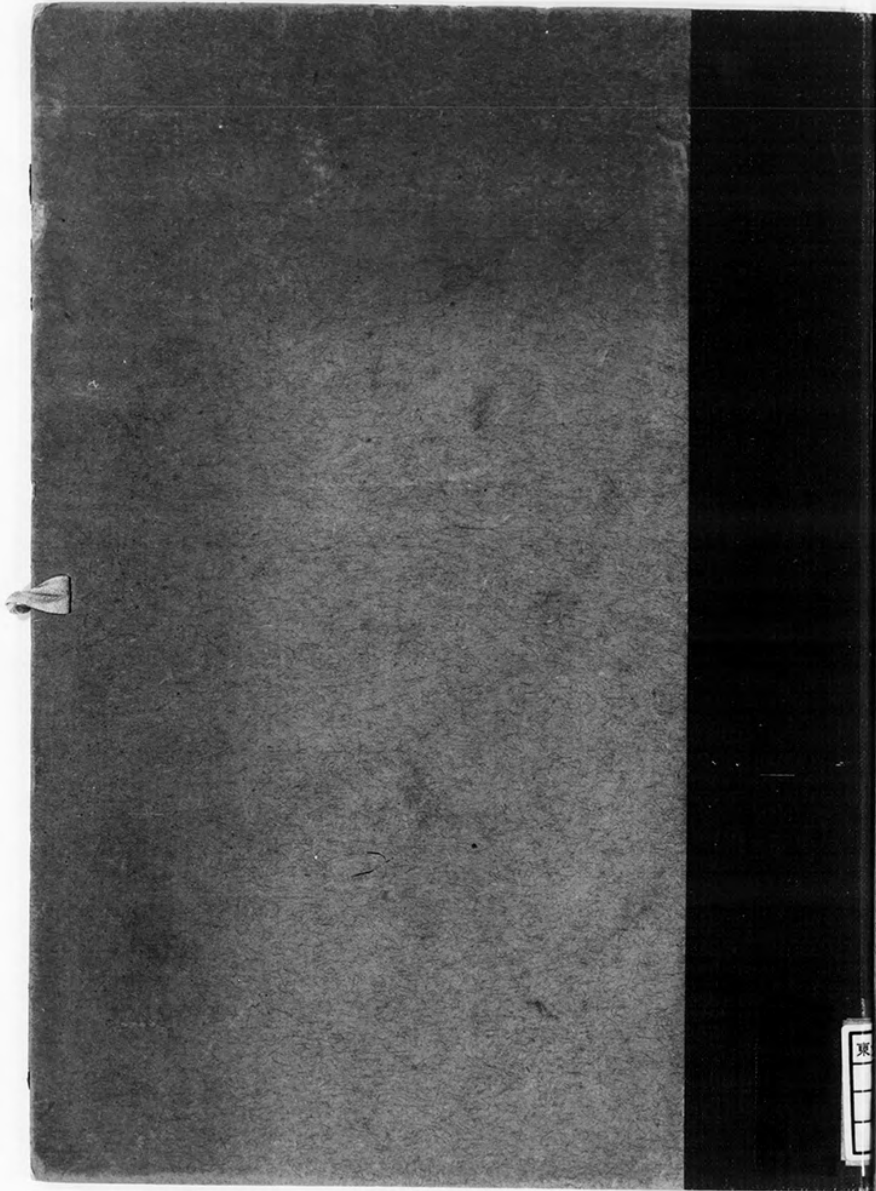


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



越前國船人異國渡海物語上

経済学
研究
80
186

経済学
80

明治三十四年四月十四日
7909
大正十四年四月十四日

越前國之國浦新澤村あり竹内若菜島の
同子屋敷あり船二艘國若菜島の船一艘は三艘
より後八人あり松崎高のふりかへり大馬
越前國の吹上りて同子の部をあられ
たり大明の北東に送らるるなり船は乃
船に送らるる家對馬を度月古川佐右衛門に
は渡其より對馬を度月古川佐右衛門に
一寛永二十二年四月朔日越前國之國浦新澤
村と若菜島ありなり乃海より送らるる日

中より脇指もせうに合戦の事もあるが
方へ掛け教の處と彼方け方掛け射殺
し其月括三人並赤がくれ居中か城より
手紙くし其後室より山掛け人百人
斗もて五振あり一海一頭集りゆ時ハ
子人斗もて其後それより日中の船を
船中の名をもと教の事と取れ船の中
丹く武人物の中そ人ハ船頭國田
兵右衛門そ人ハ竹月意新常履其年

播磨の山田吉成船よりたい松と名を以て焼
ゆ月吉成ハ海へ飛入し其方より舟く
射殺すとはとて家へ金酒送るやゆとの
是より物の中其ハ武人志士も其を衆
山掛けより其を以て括三人一頭並と後
そ人宛村より其の島の方城よりせゆゆ
弟とハ妹ハ他とハ其の弟とハ其の弟
ハ能取りのとも其の弟ハ其の弟ハ其の弟
由の弟ハ其の弟ハ其の弟ハ其の弟ハ其の弟

いふものと性急を刺し其竹中と虎と腰に
救を信定いふかと強きたるれども虎がやめ
血が死せるの祥より難祖固志科人の
極重に依救を定たりとり由る事後日
の考に事し即此意より成る類と云ふ
此地を以て信月の難祖の故大日余を其
後又秦の系に信月の難馬十人正持接人
考に成る大石と云ふ一人名日本者成部人
三人家信取る難祖を都と云ふの志山系

二信定より其人の心は亦四日斗中て
其人の心は其時中平十月霜月より
此の難祖固志の朝夕食を賜人其心
信月の心より上下共難祖の粟食を必
第一切を云ふ

一
大日余の系より信月の心は亦四日斗中て
其家の心は信月の朝夕食を賜人其心
信月の心より上下共難祖の粟食を必
第一切を云ふ

麦粉蕎麦粉米酒白子之れる鳥卵
はる八日午に糖と中由より菊に焼く
有野菜味噌塩米一日宛湯漬のち煎り
煎之蒲団本淨觸子肌袴是の將新米
と煮下し年迄五月糺去後合はる信
此酒を煮ぬるも日び、酒を以て新し
いとも日び、糸皮を削仁うはるお正月
大湯をこれ日び、此を以て餅奉り而
削仁中由より日び人歩み、可なりと云

此は其肉より削り大形を削り中由より糸皮を削り
を以て中由より削り通る後此は同年霜月
と信の中由より削り日び、糸皮を削り、是の將新米
と煮肌袴觸子踏皮湯漬、此を以て同年十月
比、日び、此を以て中由より削り、是の將新米
羊乳膏二十疋中由より削り、是の將新米
括り是れを信と知り、此を以て人歩み、可なりと云
此を以て中由より削り、是の將新米
此を以て中由より削り、是の將新米

其所以爲之形也。山、伯、中、食、也、馬、有、
 以、伯、之、贈、以、人、教、何、從、多、以、上、下、也、
 馬、中、以、教、也、之、目、以、從、第、方、不、能、動、之、
 獨、有、而、性、之、衆、而、之、也、

人志存目下の人の大志上下を政談判り
あつ庵んよき寸口方種丸元談辨り也
して三つ能ゆる事上をげいも経並下贅に
判り中々大谷小名なり而性よく通ふ

一女袁形ハ以、先踐志中ハ五月、或ハ分ケ

後、しんの巻の初、しん致居しん

[illegible]

一 是初子、大谷小下、三月、上河内、後接
、後、初、大谷、小下、三月、上河内、後接
、是、日、中、持、衆、中、小、谷、見、中、小、袖、い、か
細、く、本、以、甲、こ、初、上、河、内、小、袖、い、か
、初、上、河、内、小、袖、い、か

一 鍵親志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
王、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、

一 大形、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、大、形、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、大、形、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、大、形、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、

一 難、親、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、難、親、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、難、親、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、難、親、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、

一 臣、下、京、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、臣、下、京、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、臣、下、京、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、
、臣、下、京、志、初、日、中、道、二、里、口、月、程、中、中、中、

まほうせんを右に流る名光中い外磨く
此在由に右さうあんをい王伯父母てい
年二孫四を見ゆわそく被つる人母て此在
い人母一后下母てい上下共思ひる磨く
と此とおとゆ事感うゆゆ由て町と此通
志時分見ゆ町人茂るゆ改路地分此在
日ゆてお世ふ便て此由母て此市景道度
此石おゆ此思ふ此ゆと此あんをゆゆい
さうゆんもの先る是王の伯父をあんを

分別もゆゆゆ此此は此此と此此此此
ゆあ此ゆ見ゆゆと顔るゆゆゆと眼指
おゆゆと見ゆゆ大剛を人合我る此城攻
思ひ掛ゆゆ不指とゆ事ゆゆゆゆゆゆ
難難合我の付度と本振るゆゆ城攻
ゆ付城ゆゆ不指ゆゆゆゆ王公御教可
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

と欲するも未償の債をたてしむるはあんなに是はさう
あんなに甚だしく

一 さういふあんなに寛野に佛出れば是を度見よと大尊
千番宛り由りし衆云見よの處救ふ所の
救ふ所可有と云ふと云ふ所は是は佛の
元も程の多うなるは是は佛の元も程の

一 佛法度ふ事なく佛法事なく外明と云ふ
見よの上下共、慈悲の心と云ふ佛の事
一切を金銀錢取教へて云ふも望む所

云ふは佛の心も願ふ所は佛の心は日なり人なり
而して佛の心は佛法度ふの心は佛の心は
佛の心は佛の心は佛の心は佛の心は
大明と云ふ難報と云ふ評定場と云ふ
是も佛の心は佛の心は佛の心は佛の心は
と事ハ七所の評定場と云ふ所は佛の心は
而して分別の心は佛の心は佛の心は
あんなに甚だしく奉り人なり佛の心は
佛の心は佛の心は佛の心は佛の心は

一 大名家他外、（付）平ノ旗アリ、（持）池長リハ
持セシキ

一 武具ハ弓矢ト見申ルモ此長サ江ノ中程ハ有リ
唐ノ弓トシテ日ハ長渡リハ其弓ハナリ、（高）座
毎日乃種云古馬ト云モ自由自在、射
中ハ的ト射中ハ指同方同云々ト述ビ矢種
ハ皆馬ト云射中ハ時馬、（指）サセ、（前）後ハ心
自由、射中ハ甚矢、（馬）ト云々ハ見ルハ其
所、（射）面白クハ有リ

五



東京大学経済学部図書館



5505532266

